
次世代を対象とした SDGs人材育成活動 の探究と実践

SDGs文化祭における
ユースの学びの支援プログラムと成果について



目次

- 自己紹介と共同運営者の紹介
- SDGs文化祭とは
- プログラム紹介
- まとめ



自己紹介と 共同運営者の紹介

SDGs文化祭 共同運営者

○ 一般社団法人ESD TOKYO

共同代表理事 総合運営

私立高等学校教員 佐藤 駿介氏



SDGs文化祭 共同運営者

○ 一般社団法人ESD TOKYO

共同代表理事 松井 晋作氏

…大学院修了後、高校教員として
10年間従事。その後、多摩大学を経て、
現在、桐蔭横浜大学教育研究開発機構専任講師、
桐蔭学園トランジションセンターマネージャー。



SDGs文化祭 共同運営者

○運営サポート

関東地方

ESD活動支援センター



関東地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

○大学生メンター

EMPOWER Project

／ボイス・オブ・ユース



EMPOWERTM



SDGs文化祭とは



SDGs文化祭を始めた背景



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○SDGsに取り組む

= 意識高い系として学校内では少数派

2019年より実施
※今年が2回目

本企画は、SDGsに興味のある生徒を集め、協働して実践・発表の場を設けるものです。SDGsに興味があっても周囲に仲間がいない生徒や、学ぶ機会の少ない生徒に、積極的にSDGsに関わる場所を提供しています。

SDGs文化祭を始めた背景



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○発表の場所が
中高生にはほとんどない

2020年度は、またコロナ禍の影響により学校内外での生徒の活動の場が減少している時期だからこそ実施する価値があると考え、オンラインを活用して開催しました。

SDGs文化祭 特徴とプログラム



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

【特徴】

① 中高生による横の繋がりづくり

…学校の枠を越えて企画立案・運営することで、

意志を持った生徒を結び付け、日本におけるSDGsの
推進を加速させていきたい。

SDGs文化祭 特徴とプログラム



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

【特徴】

② 中高生と大学生の縦の繋がりの強化

- … **中高生と大学生がSDGsの推進と一緒に取り組む**ことにより、学校種を越えた新しい教育のデザインを示します。
- 年齢を越えた協働の学びのためのメンター制度の確立

SDGs文化祭 特徴とプログラム



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

【特徴】

③ 生徒主体の発信

…あくまでも生徒を主体とし、大人は場を提供するだけ、
というスタンスを取っています。そのため、いわゆる**賞は
設けず、あくまでも取り組んだことを評価**します。文化祭
のように、それぞれが自分の興味の下に、様々な実践と
発表を行っていきます。

SDGs文化祭 特徴とプログラム



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

【プログラム】

○募集人数 対象者

✓30～40名 中高生のみ 3～4名に1名のメンター

○全6～7回プログラム

- ①キックオフMTG ②個人SDGs事例プレゼン
- ③フィールドワーク（オンラインも含む） ④グルーピング
- ⑤中間発表(2020年度より実施) ⑥文化祭当日
- ⑦リフレクション

SDGs文化祭 特徴とプログラム



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

【プログラム】

○同期・非同期型ラーニング

✓連絡手段はGoogleメール・LINE・Slack

✓メンターとのやり取りはSlack・ZOOM

○フィードバック・アクション

✓大人との対話を意識(インプット→アウトプット→インプット)

✓リフレクション後は必ずアクションへ



具体的なプログラム

SDGs文化祭 プログラム紹介①



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○アイスブレイク

自己紹介ワールドカフェ

→ハーベスト・リフレクション



○ロールモデル・ラーニング



SDGs文化祭 プログラム紹介②

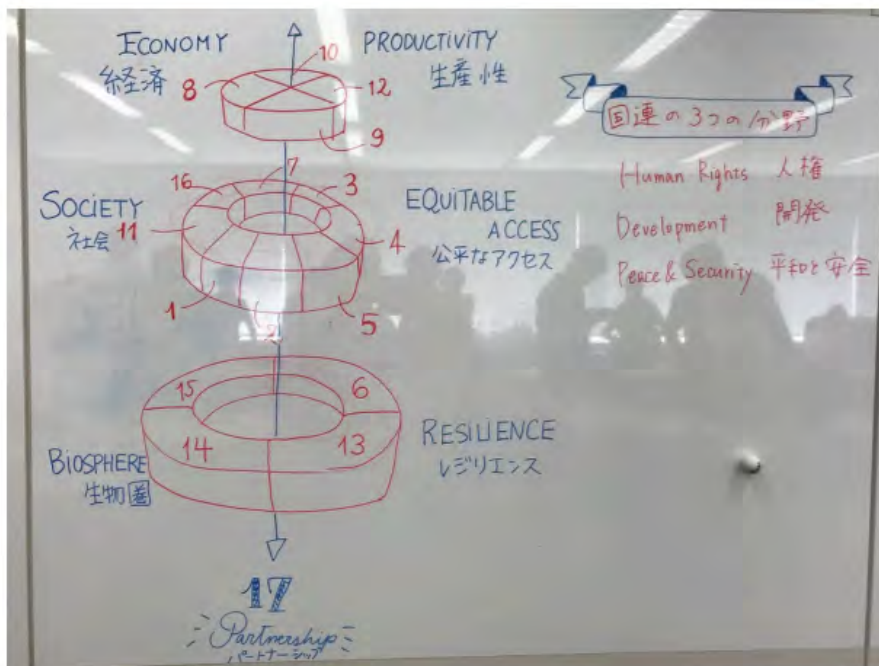


2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○内化→外化→内化の 学びのサイクル(インプット)



社会とのつながり

世界中の「人」・「金」を集中し、
結果に繋げる

- ・ 開発途上国 + 先進国
- ・ 市民社会・企業の巻き込み (当事者も)

→異なる目標・ターゲットが互いに関連していることも

誰一人
取り残さない



2020-06-28 13:32:14

SDGs文化祭 プログラム紹介②

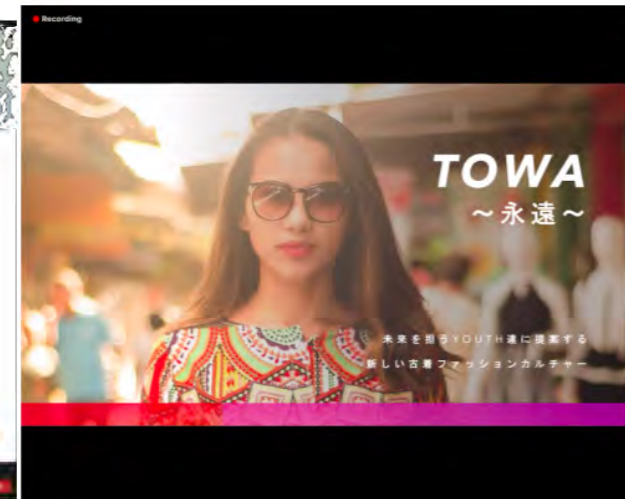
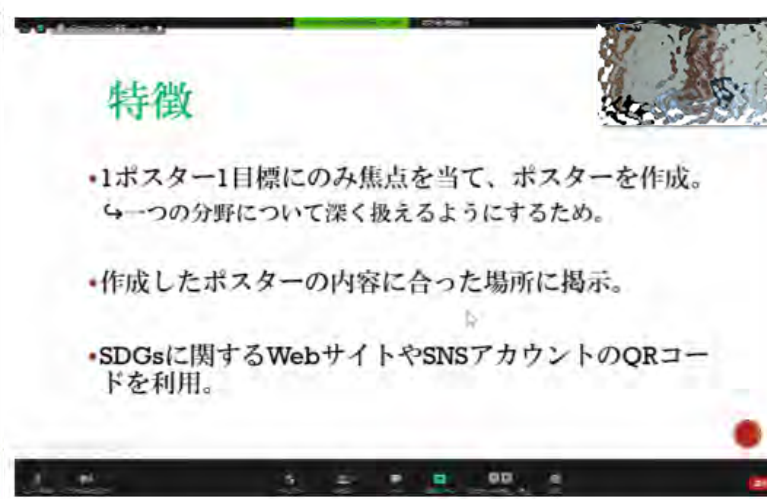
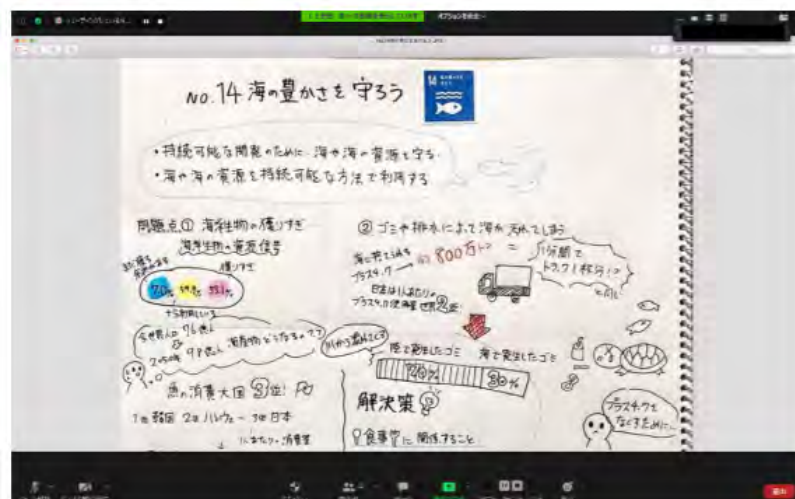


2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○内化→外化→内化の 学びのサイクル(アウトプット)



SDGs文化祭 プログラム紹介②

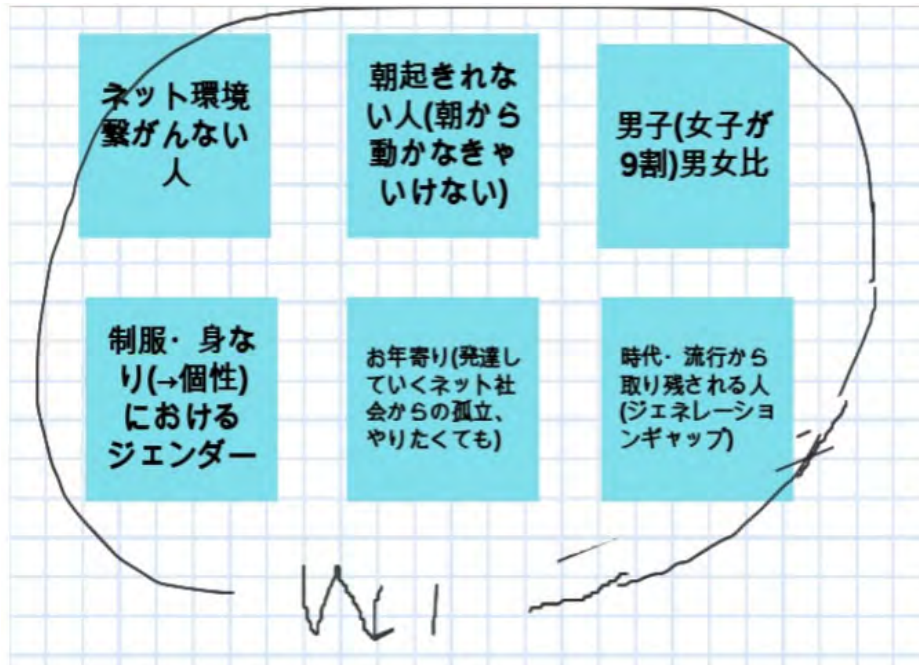


2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○内化→外化→内化の 学びのサイクル(インプット)



国連事務局長からCOVID-19の今
子供を守るために

<https://www.youtube.com/watch?v=MQMxPoLCo4w&list=PLNeopDYSfDivs2l1HA5rHXitm7NFPWy-G&index=15&t=0s>

SDGs文化祭 プログラム紹介③



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○フィールドワーク×リアル



SDGs文化祭 プログラム紹介③



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

〇フィールドワーク×オンライン



セッション2の進め方 14:25~14:50
「地域における学校を越えた教育の在り方とは」

1. テーマオーナーから自己紹介
2. メモ担当者を決める!
3. テーマオーナーから、テーマの共有
4. 積極的にディスカッション&手書きメモ!
5. メモは、書き終わったらスマホで撮影してメールで送って下さい!

edcamp.tama@gmail.com

企画アウトライン

- ・11月7日土曜日12時頃から
- ・動画配信サービスで視聴&イベント参加
- ・配信会場、中継先でのライブ中継もあり
- ・オフラインでの集客は前提としない
- ・演奏や演劇などは事前収録動画(15分程度)
- ・既存のイベント主催者にも呼びかけ
- ・市内企業や教育機関との連携
- ・企画・コンテンツづくりは市民&学生
- ・クラウドファンディングでメイン企画
- ・モニター、ビジョンによる街中視聴(調整中)

ポイント

なるべく多くの参加者(人数・世代・属性)の思い出に
みんなで作る多層の新たな文化
→作り手も視聴者も学べる・楽しめるコンテンツや新たな楽しみ方の募集段階

SDGs文化祭 プログラム紹介④



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○文化祭本番

(ポスター発表 = アクションプラン発表)



SDGs文化祭 プログラム紹介④



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

2019年(一部抜粋)

- ・街の価値・フェアトレードについて
- ・公共施設で取り組むSDGs ~SDGsを知ってもらうには~
- ・SDGs広報活動~3つの視点から~・食品ロスを減らすために
- ・ちょっと優しい日本の未来~ライフスタイルの多様性~

2020年

- ・Support to Change・国内の外国人支援におけるVoYJでの発信
- ・絵本プロジェクト・海外への手助け
- ・TOWA・環境にいいことをtwitterを使って広める

まとめ



まとめ



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○ 重要な要素

✓ユースの発信を支援する仕組みが重要

(場所とメンター)

✓学びのプログラムのPBLとフィールドワークの質担保

✓大人の立ち入り領域の境界線を明確にする

まとめ



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

○ 課題点

✓ワークショップはオンラインでは難しいため、
対面も含めたハイフレックス型で進める必要あり
(熱と空気感)

✓「誰一人取り残さない」をネット環境により実現できない
(デバイスやネット環境に左右される)

ご静聴ありがとうございました。

詳細は関東地方ESD活動支援センターHP参照ください
<https://kanto.esdcenter.jp>